

編集後記

本号の特集テーマは「声を聞く、声を渡す」である。もともと専門であるラテンアメリカ文学の「テストimoniオ（証言文学）」について考えていたことがあったので、長年ではないにせよ、温めていたテーマではある。アレクシエーヴィチの仕事のことを多少念頭においていたのだが、ロシア軍のウクライナ侵攻があり、こういう時代の声にますます耳を傾けたいという思いから、迷うことなくこのテーマにした。合計6本の特集論文と特集エッセイを寄せてくださった執筆者の方々に感謝したい。

特集以外には、自由論文1本、研究所の活動報告5本、書評（「自著紹介」と「訳者よりひとこと」を含む）が9本掲載されている。PDF版になって以降、雑誌としての全体像が把握しづらいのが残念である。

特集以外の原稿については、大学HPの「東京外大教員の本」、あるいは総合文化研究所HPの「所員出版紹介」や「催し物」を参考に、編集スタッフと相談しながら進めている。所員の方々には、日頃の活動について、随時研究所スタッフにお寄せくださるようお願いしたい。

今号から原稿の提出にはMoodleを使用した。慣れない執筆者の方にはご面倒だったかもしれないが、おかげで原稿の受け取りにまつわるミスがなくなった。来年度以降も引き続き利用して良いと思っている。今後も責任者のお知恵によって適宜改良していただきたいが、査読制が入って以降、編集にかかる期間はますますタイトになっており、編集業務に実際に携わっている総合文化研究所編集スタッフの負担が過重にならないよう十分な配慮が必要である。

厳しい条件のなか、本号の編集を担当された若い研究者の皆さんはとても丁寧に、我慢強く業務にあたってくださいました。深く感謝します。

(久野量一)



投稿規定

1. 『総合文化研究』は、東京外国語大学総合文化研究所の研究活動の成果ならびに所員の研究成果の発表のために、同研究所の責任において編集・刊行される。なお、本誌掲載の論文等に関しては著者が著作権を有するが、著作権法で規定する複製権及び公衆送信権については、著者は国立大学法人東京外国語大学にその使用を許諾するものとし、本誌掲載論文等は同大学によって電子化・公開される。
2. 『総合文化研究』は原則として年度ごとに1号を発行する。同研究所は同誌発行のために編集委員会を置く。
3. 投稿は、同研究所の所員ならびに同研究所の研究活動に寄与した者が執筆した、未発表の論稿に限る。
4. 編集委員会は、必要に応じて外部の者に寄稿を求めることができる。
5. 内容区分は「特集論文」「自由論文」「随想・創作」「書評」「報告」とする。
「特集論文」: 特集テーマに沿った、執筆者自身による未発表の研究論文 (10,000-20,000 字程度、英文要旨、キーワード)。
「自由論文」: 特集テーマ以外の、執筆者自身による未発表の研究論文 (10,000-20,000 字程度、英文要旨、キーワード)。
「随想・創作」: 執筆者自身による紀行文、エッセイ、詩や小説等 (20,000 字以内)。
「書評」: 書評・新刊紹介等 (8,000 字程度)。
「報告」: 同研究所で開催した講演会・シンポジウム等の報告 (1,200-2,500 字程度)。
6. 上記5つのカテゴリーのうち「特集論文」および「自由論文」は査読制とする。査読者による査読を経て、最終的に編集委員会が掲載の可否について決定する。
7. 原稿は、横書きで後注とし、参考文献は本文の後に付すこと。なお、使用言語は特に制限しない。ただし、印刷の都合上、言語によっては、写真製版用完全原稿を要求することがある。
8. 写真・図表等は完全原稿とし、希望の大きさと挿入箇所を指定すること。
9. 投稿原稿は、返却しない。

Trans-Cultural Studies, Vol. 26
総合文化研究 第26号

2023年2月21日発行

責任編集 久野量一

編集スタッフ 粟生田杏奈 安島里奈
井伊裕子 奥村文音
カルロ・ストランジェス
横山綾香

発行 東京外国語大学 総合文化研究所
〒183-8534 東京都府中市朝日町3-11-1
電話 042-330-5409
Fax 042-330-5410
Web <http://www.tufs.ac.jp/common/fs/ics/>
e-mail tufs.ics@gmail.com